

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 08167916 A

(43) Date of publication of application: 25.06.96

(51) Int. Cl
H04L 12/54
H04L 12/58
G06F 15/00

(21) Application number: 06311665
(22) Date of filing: 15.12.94

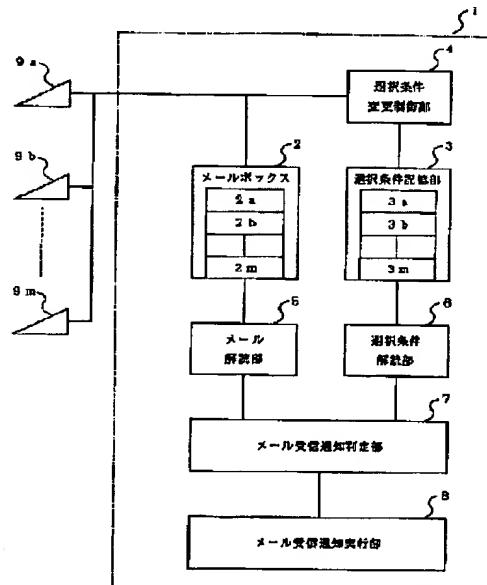
(71) Applicant: HITACHI COMMUN SYST INC
(72) Inventor: MAEHIRA SHINJI

(54) MAIL RECEPTION NOTICE SYSTEM

(57) Abstract:

PURPOSE: To improve the convenience for the user by automatically informing the user of delivery of a mail and avoiding useless notice.

CONSTITUTION: Every time a mail is delivered to optional mail boxes 2a-2m, a mail decoding section 5 reads and decodes the mail. A selection condition decoding section 6 reads and decodes selection condition lines 3a-3m corresponding to the mail box to which the mail is delivered from a selection condition storage section 3. A mail reception notice discrimination section 7 discriminates whether or not the delivery of a mail to a user is to be informed based on the result of decoded content of the mail and a selection condition list. A mail reception informing section 8 informs the user of that a mail is delivered to the mail box according to a command from the mail reception notice discrimination section 7. Thus, it is not required for the user to retrieve the mail box, reception of a useless notice is avoided and the convenience is improved for the user.



COPYRIGHT: (C)1996,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-167916

(43)公開日 平成8年(1996)6月25日

(51)Int.Cl.⁶
H 04 L 12/54
12/58
G 06 F 15/00

識別記号 庁内整理番号
310 R 9364-5L
9466-5K

F I

技術表示箇所

H 04 L 11/ 20 101 B

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平6-311665

(22)出願日 平成6年(1994)12月15日

(71)出願人 000233479

日立通信システム株式会社
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町180番地

(72)発明者 前平 信二
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町180番地 日
立通信システム株式会社内

(74)代理人 弁理士 秋本 正実

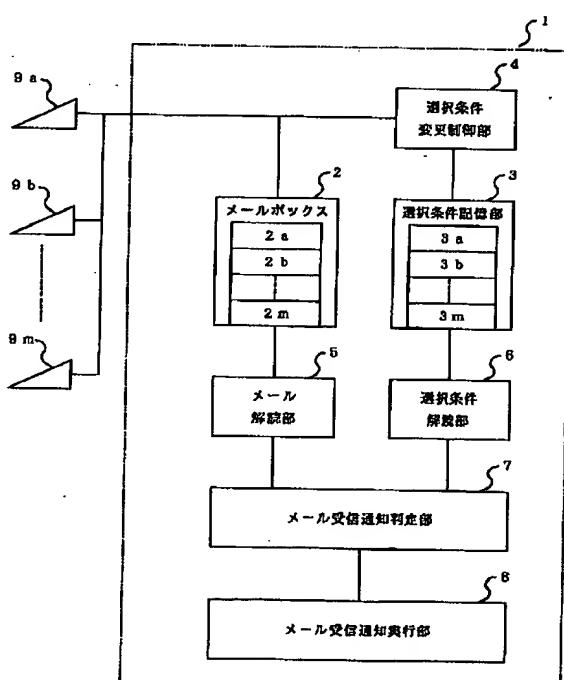
(54)【発明の名称】 メール受信通知システム

(57)【要約】

【目的】 メールが配送されたことを自動的に通知され、かつ、無駄な通知が行なわれないようにして、ユーザーの利便性を向上させることにある。

【構成】 メール解読部5は、任意のメールボックス2a～2mにメールが配送される毎に、メールを読み取り解読を行う。選択条件解読部6では、選択条件記憶部3から上記メールが配送されたメールボックスに対応する選択条件リスト3a～3mを読み取り解読を行う。メール受信通知判定部7では、メールおよび選択条件リストの内容解読結果から、当該ユーザにメールが配送されたことを通知するか否かを判定する。メール受信通知実行部8では、上記メール受信通知判定部7からの指示に従い、当該ユーザに対し、メールボックスにメールが配送されたことを通知する。これにより、ユーザがメールボックスを検索する必要がなくなり、かつ無駄な通知を受けることもなくなり、ユーザの利便性が向上する。

【図 1】



【特許請求の範囲】

【請求項1】 メールボックスを介してメールサービスを提供するメールシステムにおいて、ユーザ毎のメールを記憶する各メールボックスを有するメールボックスと、該メールボックスの各メールボックス対応にユーザ毎の各選択条件リストを格納する選択条件記憶部と、該選択条件記憶部の各選択条件リストの変更を行う選択条件変更制御部と、上記メールボックスにメールが配送される毎に、当該ユーザのメールボックスのメールを読み取り、メールの解読を行うメール解読部と、上記選択条件記憶部の当該ユーザのメールボックスに対応する選択条件リストを読み取り、選択条件リストの内容の解読を行う選択条件解読部と、メールおよび選択条件リストの内容の解読結果に基づいてメールが配送されたことを当該ユーザに通知するか否かを判定するメール受信通知判定部と、該メール受信通知判定部の判定結果に基づき通知が必要な場合に当該ユーザのメールボックスに対応するユーザ端末に対しメールが配送されたことの音声、文字もしくは画像のメッセージを通知するメール受信通知実行部とを備えてなることを特徴とするメール受信通知システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明はメールシステムに係わり、特にパソコン端末およびファクシミリ端末を対象とするメールサービスに好適なメール受信通知システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のメールサービスに関するメール受信通知システムは、メールボックスにメールが配送されたことをユーザが知る手段としては、例えばメールボックス検索要求コマンドがあり、これはオーム社出版「パソコン通信入門」(1989年)の第135頁から137頁において記載されている。

【0003】 このメールボックス検索要求コマンドは、AさんがBさん宛にメッセージの発信を行ない、Bさんはメッセージ問合せ要求コマンドを発しメッセージ一覧出力レスポンスを受け、またメッセージ読み出し要求コマンドを発してメッセージ出力レスポンスを受ける。その後メッセージを消去してメールボックスをクリアするというものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上記従来技術のメールボックス検索手段では、メールボックスユーザが、メールボックスにメールが配送された事を確認するためには、必ず当該メールボックスを検索しなければならず、当該メールボックスにメールの配送が無かった場合には、ユーザにとって無駄な動作を行うことになる。また、この欠点を解決するために、メールボックスにメールが配送される毎に、当該メールボックスに対応するユ

ーザ端末に対し、メールボックスにメールが配送されたことを自動的に通知する方法が考えられるが、この方法だけでは、メールボックスユーザにとっては不要なメールが配送された場合にも、上記通知が行われるという問題が発生する。

【0005】 本発明の目的は、メールが配送されたことを自動的に通知され、かつ、無駄な通知が行なわれないようにして、ユーザの利便性を向上させることにある。

【0006】

10 【課題を解決するための手段】 上記目的は、ユーザ毎のメールを記憶する各メールボックスを有するメールボックスと、該メールボックスの各メールボックス対応に各ユーザ毎の各選択条件リストを格納する選択条件記憶部と、該選択条件記憶部の各選択条件リストの変更を行う選択条件変更制御部と、上記メールボックスにメールが配送される毎に当該ユーザのメールボックスのメールを読み取りメールの解読を行うメール解読部と、上記選択条件記憶部の当該ユーザのメールボックスに対応する選択条件リストを読み取り選択条件リストの内容の解読を行なう選択条件解読部と、メールおよび選択条件リストの内容の解読結果に基づいてメールが配送されたことを当該ユーザに通知するか否かを判定するメール受信通知判定部と、該メール受信通知判定部の判定結果に基づき通知が必要な場合に当該ユーザのメールボックスに対応するユーザ端末に対しメールが配送されたことの音声、文字もしくは画像のメッセージを通知するメール受信通知実行部とを備えてなることによって達成される。

【0007】

【作用】 上記手段によれば、メールボックスにメールが配送される毎に、メールおよび選択条件リストを読み取り、解読を行なって、当該メールボックスに対応するユーザ端末に、当該メールボックスにメールが配送されたことを通知可能となる。また、メールおよび選択条件リストの内容の解読結果に基づいてメールが配送されたことを当該ユーザに通知するか否かを判定し、判定結果に基づいて通知が必要な場合に当該ユーザのメールボックスに対応するユーザ端末に対し、上記メールが配送されたことを通知する。これによって、ユーザは、メールボックスにメールが配送されたことを知る事ができ、メールボックスの無駄な検索を行う必要が無くなる。

【0008】

【実施例】 以下、本発明を実施例の図面を用いて説明する。図1は、本発明のメール受信通知システムの一実施例のブロック図である。メールシステム1は、メールを記憶するメールボックス2、メールが配送された事を通知するか否かを判定するための条件を記憶する選択条件記憶部3、該選択条件記憶部3の内容を変更する選択条件変更制御部4、配送されたメールの内容を解読するメール解読部5、選択条件(選択条件リスト)の内容を解読する選択条件解読部6、メールおよび選択条件リスト

の内容の解読結果に基づいてメールが配送されたことを通知するか否かを判定するメール受信通知判定部7、メールが配送されたことをユーザ端末にメッセージ（音声、文字もしくは画像）として通知するメール受信通知実行部8により構成される。

【0009】メールボックス2は、ユーザ毎の各メールボックス2a～2mにより構成される。また、各メールボックスに対応する選択条件は、選択条件記憶部3に各ユーザ毎の選択条件リスト3a～3mとして格納されている。ユーザ端末9a～9mの或るユーザ端末の要求により、例えばメールボックス2bにメールが配送されると、メール解読部5では、メールボックス2bからメールを読み取り、メールの解読を行う。また、選択条件解読部6では、メールボックス2bに対応する選択条件リスト3bを選択条件記憶部3から読み取り、選択条件リストの解読を行う。メール受信通知判定部7では、上記メールおよび選択条件リストの内容の解読結果から、当該メールボックス2bに対応するユーザ端末9bに対し、メールが配送された事を通知するか否かを判定し、通知が必要と判定した場合には、メール受信通知実行部8に通知の指示を行う。メール受信通知実行部8では、メール受信通知判定部7からの指示に従い、当該メールボックスに対応するユーザ端末9bに対し、メールボックス2bにメールが配送されたことを音声、文字もしくは画像のメッセージを通知する。

【0010】このようにメールボックス2に新たなメールが配送されると、メールシステム1から当該メールボックス2a～2mに対応するユーザ端末9a～9mに対し、メールが配送された事を通知するか否かを判定した上で、メールボックス2にメールが配送されたことのメッセージを通知することになる。

【0011】図2は、メールボックス2にメールが配送されたことをユーザに通知するメッセージの内容の一例を示したものであり、メールボックス2にメールの配達を要求したユーザ名（発信者名20）、メールがメールボックス2に配達された時刻（配達時刻21）、メール重要度22、メール標題23により構成されている。

【0012】図3は、メールボックス2にメールが配達されたことを通知するか否かの条件を記憶する選択条件記憶部3のユーザ毎の選択条件リストの内容の一例を示したものであり、発信者名選択条件31、配達時刻選択*

* 条件32、メール重要度選択条件33、メール標題選択条件34、上記選択条件31～34をAND条件式、OR条件式、NOT条件式により組合せた選択条件式30により構成されている。

【0013】以上のように、メールボックス2にメールが配達されると、メールシステム1から、当該メールボックス2a～2mに対応するユーザ端末9a～9mに対し、メールが配達されたことを通知するのでメールボックスユーザは、いちいち確認のためにメールボックス2にメールが配達されたことを検索する必要はなくなる。また、メールシステム1から、メールボックスユーザ毎に予め登録した条件により、メールが配達されたか否かを判定した上で、当該メールボックスに対応するユーザ端末に対し、上記通知を行うか否かを決定して通知するので、メールボックスユーザは、不要な通知を受け取ることが回避される。

【0014】

【発明の効果】以上本発明によれば、メールシステムが保持するメールボックスにメールが配達された場合、当該メールボックスに対応するユーザ端末に対し、当該ユーザのメールボックスに対応して予め登録した条件により、メールが配達されたか否かを判定した上で、当該ユーザのメールボックスにメールが配達されたことの音声、文字もしくは画像のメッセージを自動的に通知するため、メールボックスユーザがメールボックスを検索する必要がなくなり、しかも無駄な通知を受けることもなくなり、ユーザの利便性が向上する効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すブロック図である。
【図2】本発明の一実施例のユーザに通知するメッセージの内容の一例である。

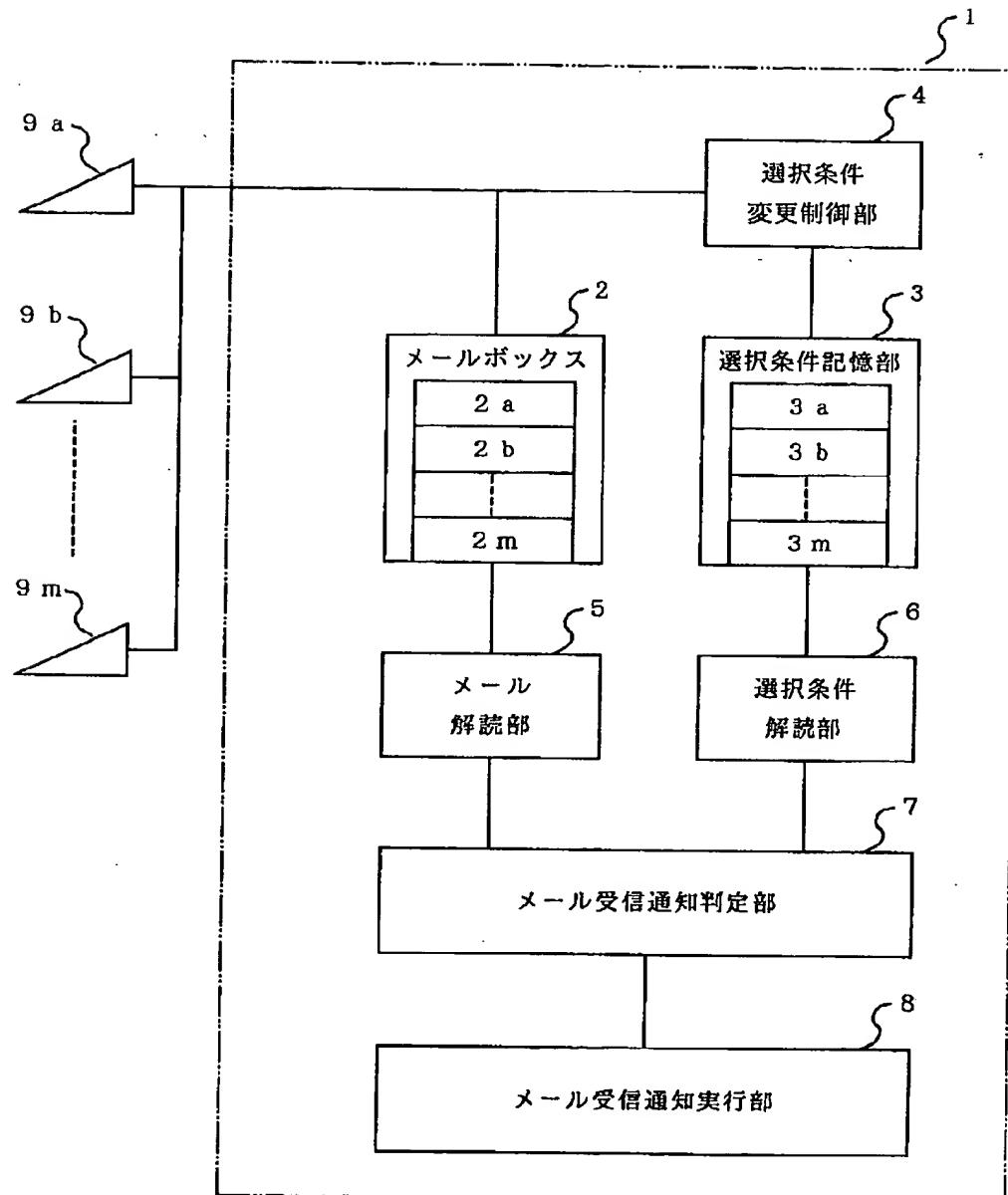
【図3】本発明の一実施例のユーザにメールが配達されたことを通知するか否かの条件を示す選択条件リストの内容の一例である。

【符号の説明】

1…メールシステム、2…メールボックス、2a～2m…ユーザ毎のメールボックス、3…選択条件記憶部、3a～3m…選択条件リスト、4…選択条件変更制御部、5…メール解読部、6…選択条件解読部、7…メール受信通知判定部、8…メール受信通知実行部、9a～9m…ユーザ端末。

【図1】

[図 1]



【図 2】

[図 2]

2 0	発信者名
2 1	配送時刻
2 2	メール重要度
2 3	メール標題

【図 3】

[図 3]

3 0	選択条件式
3 1	発信者名選択条件 通知許可発信者名 a
3 2	配送時刻選択条件 通知許可開始時刻 通知許可終了時刻
3 3	メール重要度選択条件
3 4	メール標題選択条件 通知許可メール標題 a